

歴文クラブ28年9月研修会
「南山城の古道と歴史を訪ねる」

実施日：平成28年9月19日（月）

1、コースと概要

2、資料

《初めに》・・・・・・・・・・担当（藤田・古川）

《参考資料》

①祝園神社（拝観）・・・・・・・・（古川）

②涌出宮（拝観）・・・・・・・・（古川）

③蟹満寺（解説のみ）・・・・・・・・（川井）

④草路城跡（見学）・・・・・・・・（川井）

⑤山本駅跡（見学）・・・・・・・・（古川）

⑥同志社大キャンパス内遺跡（見学と昼食）・・・（川井）

⑦観音寺（拝観）・・・・・・・・（川井）

⑧大住車塚古墳（見学）・・・・・・・・（古川）

⑨継体大王と樟葉宮跡（見学）・・・（藤田）

《付録》仏像とは・・・・・・・・（川井）

3、参加者名簿

1、コースと概要

(コース)

西大寺南口出発 8 : 30

⇒①祝園神社 9 : 00着

⇒②湧出宮 (和伎坐天夫岐売神社) 9 : 40着

⇒③蟹満寺 (通過)

⇒④咋岡神社と草路城跡 10 : 30着

⇒⑤古山陰道の山本駅遺跡、壽宝寺 11 : 20

⇒⑥同志社大学キャンパス内遺跡 11 : 40着
(見学・昼食・休憩) 12 : 40発

⇒⑦普賢寺観音堂 13 : 00着

⇒⑧大住車塚古墳 13 : 40着

⇒継体天皇樟葉宮跡 14 : 30着
15 : 00発

⇒西大寺南口帰着 16 : 00の予定



(訪問先の概要)

- ①祝園神社、②湧出宮（和伎坐天夫岐売神社）
わぎにいますあめのふきめじんじゃ
崇神天皇と争って敗れた武埴安彦ゆかりの神社。
両社の残る「居籠祭」という奇祭は国の重要無形民俗文化財。
- ②蟹満寺・・・今回は省略
かにまんじ
今昔物語の寺創建にまつわる縁起が有名。白鳳時代の国宝金銅仏がある。
- ④昨岡神社・草路城跡
くいおかじんじゃ くさぢょうあと
草路城は、1485年、山城国の上三郡（久世郡、綴喜郡、相楽郡）において国人・農民による一揆の拠点の城跡。以後8年に及ぶ自治体制が続いた。
- ⑤古山陰道の山本駅遺跡
古山陰道と古山陽道の分岐点の駅。当時の3大橋の「山崎橋」宇治橋「瀬田橋」に通ずる交通の要衝。山本駅遺跡之碑が残る。
- ⑥同志社大学キャンパス内遺跡（見学と学食で昼食）
・継体天皇の筒城宮伝承地の碑
・竪穴住居跡・天神山遺跡・下司古墳など
・仁徳天皇の皇后「磐之媛」の終焉の地の筒木宮の伝承
- ⑦観音寺（普賢寺観音堂）
・古くは「息長山大教普賢寺」と称す。国宝十一面観音立像を拝観。
- ⑧大住車塚古墳・大隅南車塚古墳と大隅隼人
・4世紀末～5世紀の前方後方墳は大隅隼人の首長の墓か？
・横穴古墳群や大隅地方特有の地下式横穴式墳墓も存在する。
・薪・堀切横穴古墳群から九州隼人の刺青のある人物埴輪が出土
・大隅隼人の居住地、7世紀天武天皇の時代には集団上番の制度
- ⑨継体天皇の即位地「樟葉宮」跡
・「樟葉宮跡の杜」は交野天神社の境内にある。継体天皇が即位した樟葉宮跡の伝承地として大阪府の史跡となっている。
当時の樟葉は大型帆船の遡行できる船溜まりの地で、対岸には山崎津があり淀川水運の要所であった。

3、参加者名簿

	氏 名	申込日
No.1	青木 幸子	
No.2	青木 芳一	
No.3	阿部 和生	
No.4	池田 富子	
No.5	上西 千代子	
No.6	小田 新八郎	新入会
No.7	川井 秀夫	代表・担当世話人
No.8	川岸 美子	
No.9	岸谷 和代	
No.10	塩本 勝也	
No.11	鈴木 末一	
No.12	千載 輝重	新入会
No.13	辻本 愛子	
No.14	辻本 信一	
No.15	永井 幸次	
No.16	中井 弘	
No.17	中川 徹	
No.18	西谷 範子	
No.19	羽尻 嵩	
No.20	坂東 久平	
No.21	福田 美伸	新入会
No.22	藤田 秀憲	担当世話人
No.23	古川 祐司	事務局
No.24	森 英雄	
No.25	八木 順一	
No.26	弓場 厚次	
No.27	和田 啓志	

(メモ)